



つながりから見えるアジアの姿と未来

講座コーディネーター

新潟大学
環東アジア研究センター長
高橋 秀樹

趣 旨

グローバル化が進み、国際的な地域間の結びつきや対立が私たちの生活に大きな影響を与えています。アジアの東縁にある日本は、アジアの中でどのようなつながりを育むべきなのでしょう。また、これまでの日本と他地域との関係があまり注目されてこなかったところにどんな経緯があり、可能性があるのでしょうか。本講座では、日本を取り巻く東アジアの各地域の様子を各論的に学び、その多様性と東アジアの関係、将来を展望し、総論へと学んでいきます。

学習方法

前期：講義 ※後期ゼミナールは実施しません。

前期受講料

10,000円

土曜日 午後4時～午後6時



プログラム・指導講師

回	月日	テーマ	内容	講師
1	6/13	〈各論1〉新潟 東アジア世界と 新潟の弥生時代	新潟県域における弥生時代遺跡・遺物の考古学的検討を通じて、東アジア世界とのつながり・交流の具体像について考えます。	新潟大学研究推進機構 超域学術院 助教 森 貴教
2	6/20	〈各論2〉ベトナム 生活者の視点でみる 社会の理想のあり方	本当の豊かさとは何でしょうか。私たちが「してあげる」対象としがちなベトナム(北部)を事例にコミュニケーションについて考えます。	敬和学園大学人文学部 准教授 長坂 康代
3	7/4	〈各論3〉カンボジア 進む中国依存と日本の役割	親日国であるカンボジアは近年、中国への依存を深めています。「民主化なき経済発展」が進む同国の現状と日本の役割について学びます。	新潟国際情報大学 国際学部 准教授 山田 裕史
4	7/11	〈各論4〉インドネシア 高齢化するバリ社会	多民族国家インドネシアは国家全体としては生産年齢人口が多い社会ですが、その中の一地方であるバリでは少子高齢化が問題になると予想されます。その理由をバリ社会の特色から考えます。	新潟大学人文学部 教授 中村 潔
5	7/18	〈各論5〉イスラーム諸国 イスラーム教徒の日常生活	アジアでは、各国、各地域で多くのイスラーム教徒が活躍しており、新潟も例外ではありません。コーランやムハンマドの言行に基づくイスラーム教徒の日常生活について、食事や服装などを中心に学びます。	新潟大学人文学部 准教授 青柳 かおる
6	7/25	〈各論6〉ロシア 住生活からみる ロシア人の暮らしと経済	ロシア人の住生活は市場経済化によって変化しました。その変化の様子と新しい日露のビジネス・チャンスの課題や展望について考察します。	新潟大学経済科学部 准教授 道上 真有
7	8/1	〈各論7〉ラオス 語り継ぐ戦争の記憶 ～新潟(長岡)との比較から～	かつて激しい空襲を経験したラオスの人々の戦災について、新潟(長岡)の経験と比較し、記憶の継承について考えます。	新潟国際情報大学 国際学部 准教授 瀬戸 裕之
8	8/22	〈総論1〉東アジアの流動性 「人的・文化的交流」の 現状と課題	東アジア地域間で起きる相互不信感の要因と未来志向の日中・日韓関係について、「人的・文化的交流」を通して考察します。	新潟県立大学 国際地域学部 教授 権 寧俊
9	8/29	〈総論2〉東アジアの安全保障 「ポスト冷戦」後の 安全保障を考える	日本の安全保障政策の変化を通して米中両国の緊張関係、朝鮮半島情勢、テロの脅威など、今後の国際情勢を考えていきます。	国際大学国際関係学研究所 教授 山口 昇
10	9/12	〈総論3〉東アジアの経済 ビジネスのグローバル化と 求められる人材像	日本発のビジネスにとってグローバル化されたビジネスに必要な行動、意識、能力要件とは何でしょうか。異文化環境の視点をヒントに考えていきます。	国際大学国際経営学研究所 教授 横瀬 勉